

衆議院議員

(兵庫県第6区／川西・宝塚・伊丹)

討論資料

月刊

桜井 シュウ

さくらい しゅう

三ツ星議員★★★★

2021年 特別号

1期目の総括

立憲民主党兵庫県第6区総支部 政務活動報告

決意 ～命と暮らしが最優先!～

政策 ～5つの“立て直す”～

活動 ～“三ツ星国会議員”3年連続受賞～

特別号

桜井シュウの想いと決意

国民の命と暮らしが最優先!

「国民の命と暮らしが最優先!」こんな当たり前のことができていないのが今の政治です。それどころか、都合の悪いことは隠蔽、権力に忖度して自己保身。桜井シュウは、そんな国民を諦めさせる政治を終わらせ、夢と希望が広がる社会を実現します。まずは感染症を終息させて、日本を立て直します!

一方で、コロナ禍以前から、我が国では、1,200兆円もの公的債務が積み上がり、少子化・高齢化や経済低迷、財政再建、エネルギー政策のあり方など問題が山積しています。何十年も前から分かっていたことですが、先送りしてきました。

世界に目を向ければ、人口は増加しており、マーケットは拡大しています。我が国の閉塞感の中で委縮しがちな思考から脱却し、世界にチャレンジする。生産性向上と技術・経営イノベーションを大胆に進める。銀行員としてアジアの高度経済成長のダイナミズムを経験した桜井シュウだからこそ、我が国の積年の課題を解決できます。

政治こそ、切磋琢磨を!

「権力は腐敗する、絶対的な権力は徹底的に腐敗する。by ジョン・アクトン卿 (英)」これまでの政権の不祥事で権力者の意向を忖度する姿をみれば明らかです。政治のレベルアップのためには二大政党による切磋琢磨が必要です。

桜井シュウは、多様性を認め合い、困ったときに寄り添い、お互いさまに支え合う社会を実現するため、政治の道を志しました。一つの価値観を押し付ける政治ではなく、国民のみなさんとつながり、日常の暮らしや働く現場の声を立脚点としたボトムアップの政治を通じて、公正・公平なルールに基づく自由な社会を実現します。そして、一人ひとりの能力が発揮され、それぞれに幸せを実感できる社会経済を目指します。

桜井シュウ

YouTube▶



Facebook▶



Twitter▶



Instagram▶



アメブロ▶



政策

1

コロナ感染症から立て直す

桜井シュウは、感性的情緒的な決定ではなく、事実とデータに基づく政策判断によって感染症を収束させます。また、感染症で困窮する事業者・生活者を支援することで、社会全体としてコロナ禍を乗り越えます。

感染症対策は、ワクチン接種と治療薬が車の両輪です。桜井シュウはワクチン接種の促進とともに治療薬の開発を加速すること、特に既存薬の新型コロナへの転用を提案（既存薬等の緊急使用制度法案）しています。また、全国知事会ではロックダウン（都市封鎖）が必要との意見がありました。桜井シュウは、デルタ株への対処に必要な法制度を整備するため、臨時国会の召集を憲法53条に基

づいて提案しています。しかし、政府与党は審議拒否です。

今から12年前の自民党麻生内閣のときに新型インフルエンザが大流行しました。また、医療崩壊で救急車のたらい回しが大きな社会問題になりました。感染症を収束させ、医療を立て直せたのは政権交代があったからです。今回の感染症を収束させて、あなたの命と暮らしを守るためには、政権交代が必要です。

- ▶ **ワクチン接種促進と治療薬開発・普及で感染症収束**
- ▶ **医療機関支援等による医療崩壊防止**
- ▶ **コロナ禍で困窮する事業者・生活者の支援**

政策

2

経済と暮らしを立て直す

コロナ禍以前からの我が国の中長期的な課題として、少子化、高齢化、人口減少、経済格差拡大、実質賃金低迷、個人消費低迷、デフレーション、男女不平等などがあげられます。これらが相互に絡んで、バブル経済崩壊以降、我が国の経済は30年に及んで停滞しつづけています。

昭和の終わりごろには、「一億総中流」と言われていた我が国社会が、今や「格差社会」「子どもの貧困」などと言われるようになってしまいました。分厚い中間層を取り戻す。経済格差是正。これこそが、我が国が取り組むべき課題です。

そのため、所得再分配機能を強化する税制として、累進制の強化、資産課税の強化、間

接税（消費税）から直接税（所得税・法人税）へのシフトを提案しています。

また、20世紀の終わりには、働くなら正社員が当たり前だったのに、今では派遣労働・非正規雇用が大幅に増加しています。株主の権利が幅を利かせて、働く者が粗末に扱われています。

桜井シュウは、このような不条理を正して、まっとうな社会制度を実現します。

- ▶ **分厚い中間層を取り戻すための税制改革**
- ▶ **雇用の安定と最低賃金の引き上げ**
- ▶ **株主至上主義を排し、公益資本主義を実現**
- ▶ **デジタル化推進による公共サービスの効率化**
- ▶ **カジノ（賭博）に頼らない観光戦略**

政策

3

教育と福祉で立て直す

桜井シュウは、お互いさまで支え合う社会システムを立て直し、少子化・高齢化・人口減少に対処します。また、桜井シュウは、個人が尊重され個人が伸び伸びと成

長できる、差別のない社会を実現します。

- ▶ **多様な婚姻制度の導入（選択的夫婦別姓、同性婚等）**
- ▶ **待機児童と介護離職の解消**
- ▶ **人材育成による成長戦略**
- ▶ **安心の医療・介護・年金制度**



写真：国会質問

政策

4

日本外交を立て直す

安全保障政策は、近くは現実的に、遠くは抑制的に対処します。日米同盟を基軸として、個別的自衛権により国土防衛を図ります。「人権」と「民主主義」と「法の支配」は、人間が幸せになるための人類普遍の価値として、桜井シュウは実現に取り組みます。北東アジアだけでなく世界での核兵器廃絶に

向けて力を尽くします。そして、それを世界平和に繋げます。

- ▶ 専守防衛と平和主義の推進
- ▶ 人間の安全保障と平和構築の推進
- ▶ 人権外交の推進と世界の民主化支援

政策

5

政治の信頼を取り戻す

コロナ禍なのに政治資金パーティは開催。政治家が特権階級になっていないか、利権との癒着がないか、一握りの人たちのために社会全体が喰い物にされていないか、桜井シュウは、行政情報の公開を徹底し、厳しくチェックすることで、政治への信頼を取り戻します。企業献金は、見返りがあれば賄賂、見返りが

なければ背任（企業に損害）です。桜井シュウは企業献金を禁止し、公明正大な政治を実現します。

- ▶ 公文書管理と行政情報公開の徹底
- ▶ 公的事業の費用対効果の徹底チェック
- ▶ 企業団体献金の禁止

Q 市民からのご意見にお答えします! A

Q1：立憲民主党は反対ばかり！

A 野党が反対している場面ばかりがテレビなどで報道されますので、反対ばかりのイメージがあるのかもしれませんが。しかし、実際は、約8割に賛成しています（2021年通常国会では内閣提出法案・条約73本のうち56本に賛成）。賛成している姿はマスコミにとってつまらないからなのか、取り上げられません。一方で「コレはさすがに酷い！」という法案には声を大にして反対します。例えば、検察人事を内閣の意のままに行えるようにする検察庁法改正案には野党が国会で大反対したところ、国民世論も大反対となり、廃案に追い込みました。

Q2：立憲民主党は何がしたいのが見えない！

A まずは新型コロナウイルス感染症を収束させて国民の命と暮らしを守りたい。そのために感染症対策（詳細は左面）を徹底します。当たり前のはずですが、今の政権与党は財界と利権に引きずられて中途半

端な感染症対応になっています。

この20年で一億総中流から格差社会に変貌してしまった日本社会ですが、立憲民主党は経済格差を是正して誰もがチャンスと希望を持てる社会にしたい。冷酷な弱肉強食の競争至上主義ではなく、人にやさしい政治であったかい社会を実現します。

Q3：民主党政権は失敗したが、政権を任せられるのか？

A 桜井シュウは、2009年の民主党政権誕生時には議員ではなく、政権交代に期待した一人の国民でした。民主党政権は一人一人を大事にする社会を目指すという方向は良かったものの、理念と政策を理解できていない議員や残念ながら実務の経験と能力が不足した議員が少なからずいました。力不足の議員は、政権陥落後の逆風選挙の中で、落選したり他党へ逃げたりと淘汰されました。今の立憲民主党には信念を貫く少数精鋭が集っていますので、次の政権交代では的確に政権運営できます。

桜井シュウの議員活動 ～1期4年を振り返る～

【国会での活動】

●本会議・委員会での発言

本会議には4回登壇、委員会ではほぼ毎回登壇して発言し、総理大臣および各大臣などと議論を重ねました。



写真：衆議院本会議での討論



写真：総務委員会

●法案の提出

新型コロナウイルス感染症対策はじめ様々な法律案を、条文から書き起こして議員提出法案として65本提出しました（提出者・賛同者の合計）。

●質問主意書

国政全般について内閣の見解を文書で求めることができる「質問主意書」を、4年間で合計70本、提出しました。

【地元での活動】

●国政報告会の開催

ほぼ毎週、政務活動報告会・意見交換会を開催。報告とともに質疑応答の時間をたっぷりとり、皆様からのご意見・ご質問を踏まえて議論しました。



写真：政務活動報告会

提案した政策が実現！

新型コロナウイルス感染症対策に加えて次の政策を実現しました！

- プロバイダー責任制限法改正（2021年4月）
インターネット上で誹謗中傷の対策のため訴訟手続きの簡素化を提案して実現
- 銃刀法改正（2021年6月）
地元宝塚市でのクロスボウ（洋弓）殺人事件を受けて銃刀法の取り締まり強化を提案して実現
- 政治分野における男女共同参画推進法改正（2021年6月）
超党派議員連盟の作業チームに参画して法改正を実現
- その他、人権外交、金融・税制、科学技術・知的財産制度などで政策を推進

3年連続で「三ツ星国会議員」を受賞！

「三ツ星議員」とは、議員提出法案・委員会質疑・質問主意書提出などの国会活動において特に顕著な働きをしている議員を政策NPO（田原総一郎さんが代表）が認定する賞。

1期目ながら2018年・2019年・2020年と3年連続で「三ツ星国会議員」を受賞しました。

●国政報告ニュースの配布

「月刊！桜井シュウ」を毎月発行。街頭配布やポスティングを通して国会での活動状況をご報告しました。

●インターネットでの情報発信

ブログ「日刊！桜井シュウ」を毎日更新。加えてSNSなどを活用して、理念・政策・活動報告を発信しました。

発行所 立憲民主党兵庫県第6区総支部長・衆議院議員
桜井 シュウ

〒664-0858 伊丹市西台2-5-11
松屋ビル2F

TEL ▶ 072-768-9260

FAX ▶ 072-768-9261

e-mail ▶ sakuraishu.office@gmail.com

URL ▶ http://www.sakuraishu.net/



桜井 周（さくらい しゅう）プロフィール

【学歴】美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、
県立伊丹高、京都大、京都大院修士、
ブラウン大院修士

【職歴】国際協力銀行調査役、弁理士、
伊丹市議会議員（2期）

【資格】弁理士、国会議員政策担当秘書試験合格

【家族】妻、子ども2人、犬（トイプードル♀）

号外
立憲民主
The Constitutional
Democratic Party of Japan

立憲民主党
立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区
平河町2-12-4
ふじビル3F

TEL 03-6811-2301
FAX 03-6811-2302
兵庫県第6区版